

快適な水環境を創造する流域下水道の整備（防災・安全）

計画概要

◆計画期間 平成27年度～平成31年度(5年間)

◆計画の目標

災害時に下水道として最低限の機能を確保するための耐震化等を図るとともに、設備の老朽化による処理機能低下を未然に防止するための改築更新を計画的に実施することで、良好な水環境を創造し、安心して快適に暮らせるまちづくりを実現する。

◆計画の成果目標(定量的指標)

- 指標①:処理場の地震対策実施率を68%(H27当初)から72%(H31末)に増加させる(その他関連する事業を含む。)
- 指標②:処理場における改築更新を8処理区の機械電気設備に対して実施する(その他関連する事業を含む。)
- 指標③:管きょ・ポンプ場における機械電気設備の改築更新を6処理区に対して実施する(その他関連する事業を含む。)

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況(中間年度)

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A (基幹事業名)	10,150百万円	水処理施設等の耐震化、改築更新を実施	34.2%
B 関連社会資本整備事業	0百万円	—	—%
C 効果促進事業	0百万円	—	—%
合 計	10,150百万円		

※事業費は、平成29年度末までの実績額

※進捗率(%)は、各事業の計画に対する実施割合【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況(中間年度)

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 (別紙1)

災害時に下水道として最低限の機能を確保するため、処理場の地震対策実施率を73%まで増加させることができた。また、処理場における機械電気設備の改築更新を8処理区、管きょ・ポンプ場における機械電気設備の改築更新を5処理区で実施し、設備の老朽化による処理機能低下を未然に防止することができた。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(処理場の耐震化実施率)

中間目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	耐震工事が順調に進捗したため、目標値を上回る地震対策実施率となった。
中間実績値	73%		

指標②(処理場における機械電気設備の改築更新実施数)

中間目標値	4処理区	目標値と実績値に差が出た要因	点検結果に基づき、改築更新の時期を見直した結果、目標値を上回る改築更新実施数となった。
中間実績値	8処理区		

指標③(管きょ・ポンプ場における機械電気設備の改築更新実施数)

中間目標値	3処理区	目標値と実績値に差が出た要因	点検結果に基づき、改築更新の時期を見直した結果、目標値を上回る改築更新実施数となった。
中間実績値	5処理区		

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

◆今後の方針

災害時に下水道として最低限の機能を確保するため、地震対策が必要な施設を有する8処理区について、引き続き耐震化を実施する。

また、設備の老朽化による処理機能低下を未然に防止するため、下水道ストックマネジメント計画に基づき改築更新を計画的に実施する。

◆中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	策定主体で評価を実施。なお、計画の各要素事業(基幹事業)については愛知県公共事業評価実施要領に基づき評価を実施。
中間評価の実施時期	平成30年12月
公表の方法	愛知県建設部下水道課のWEBページ掲載

【基幹事業】

- 事業名 衣浦西部浄化センター(地震対策)
- 工事概要 管理棟耐震対策工事 一式
- 事業箇所 半田市川崎町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 耐震性能不足の施設を補強することにより、地震発生時に建物の倒壊を防ぐことで、災害時に管理棟としての機能を確保することができた。

工事施工前

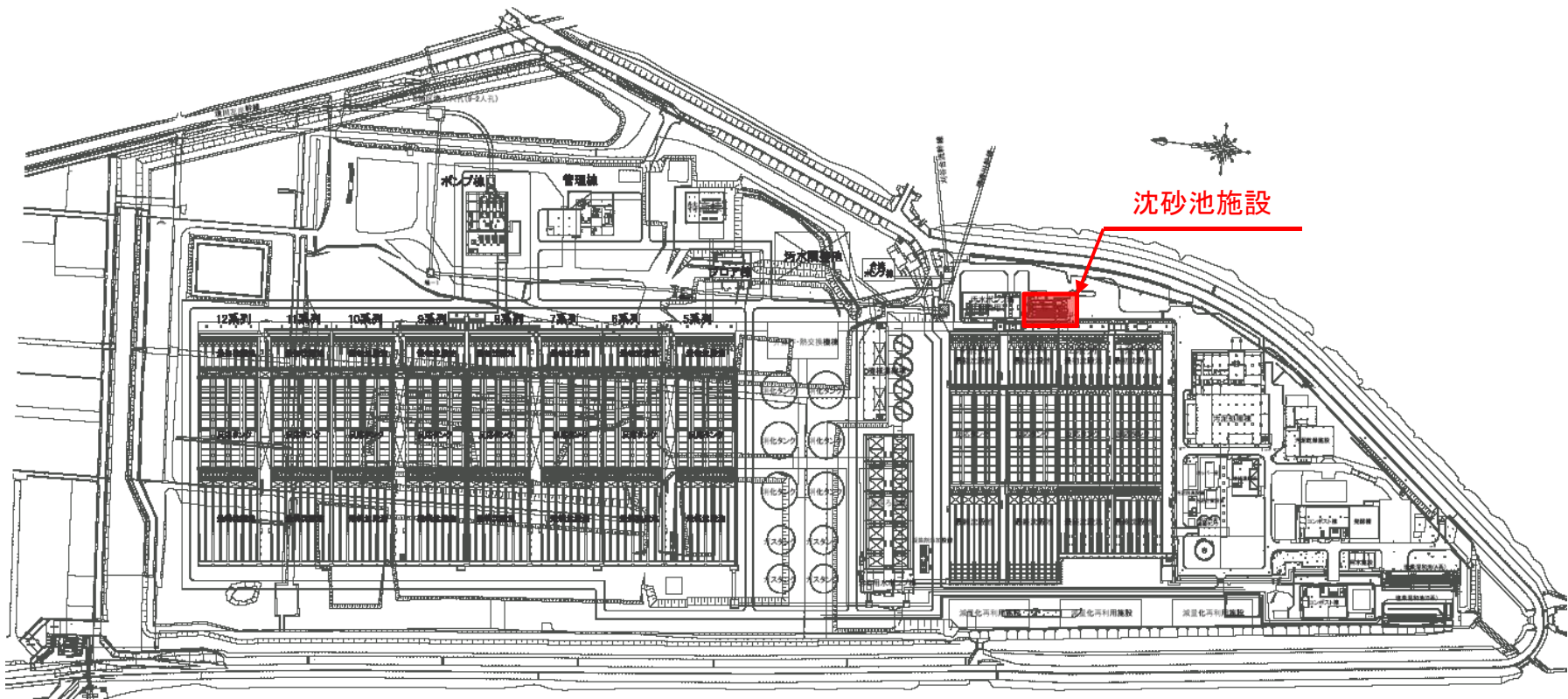


工事施工後



参考図面

境川浄化センター 一般平面図



工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 境川浄化センター(改築更新)
- 工事概要 沈砂池施設機械設備更新工事 一式
- 事業箇所 刈谷市衣崎町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 耐用年数を超過した施設を更新することにより、老朽化による故障等で施設が停止することに伴う処理機能の低下を防ぐことができた。

工事施工前



工事施工後

